

心臓病
センター

診療科・部門案内

～心臓病センターは、心臓や血管の病気を正確に診断し的確に治療する部門です。～

●循環器科

循環器科は主として高血圧症、狭心症、心筋梗塞、不整脈、心不全などの“心臓と血管”の病気を診断し、治療する科です。通常の外来の他に救急車で来院された循環器疾患にも24時間対応しており専門医の集中治療が受けられます。3床の心臓疾患の集中治療室（CCU）をもち、最新の設備と高い看護度で重症患者の救命に当たっています。



●心臓血管外科

心臓血管外科は主として大動脈瘤や閉塞性動脈硬化症、および静脈の病気の治療を行っています。閉塞性動脈硬化症に対してカテーテルを使用したステント治療やバイパス術など多彩な治療法を組み合わせ、血流を回復させて足の痛みをとる治療の成績は良好で、高い評価を受けています。最近ではお腹を切らずに行う腹部大動脈瘤の手術(ステントグラフト留置術※)も積極的に行っています。

※ステントグラフト留置術：カテーテルを用いて人工血管を留置する。

カンファレンス風景



なるほど
納得!
豆知識



メタボリックシンドロームとは



メタボリックシンドロームとは「内臓脂肪の蓄積」が原因となって生活習慣病を複数発症した状態のことをいい、心臓病センターの扱う疾患（1ページ目参照）とは深い関わりがあります。

「内臓脂肪」は腸管の周囲につく脂肪などをさし、これが蓄積すると、おへそのまわりがでっぱり、内臓脂肪型肥満（リンゴ型）になります。腹部には別に「皮下脂肪」もみられますが、こちらが蓄積すると女性に多い皮下脂肪型肥満（洋ナシ型）になります。

脂肪細胞から分泌され、動脈硬化を起こしにくくするホルモン（アディポネクチン）は内臓脂肪が増えると逆に分泌が低下し、動脈硬化を引き起こしやすくなります。

また、過剰な内臓脂肪蓄積は高血圧などの生活習慣病の原因となり、心臓や血管の病気をおこす危険度が高くなってきます。現在の診断基準では内臓脂肪の過剰な蓄積はウエスト周囲径を用いて推定しています。

（男性85cm、女性90cm以上）

内臓脂肪型
肥満
(リンゴ型)



皮下脂肪型
肥満
(洋ナシ型)



内臓
脂肪

過食

運動不足など



蓄積

カロリー
制限

有酸素
運動

改善!

